

【草花の部屋】

ゲンティアナ・ルテア (リンドウ科リンドウ属 *Gentiana lutea*)

和名：ゲンティアナ・ルテア **別名**：

英名：yellow gentian、 great yellow gentian、 pale gentian、
bitter root、

リンドウ目 多年草 **原産地**：ヨーロッパ

花言葉： **花の色**：黄色



← 写真-1 ゲンティアナ・ルテア
撮影日：2015年07月14日
撮影場所：シーニゲ・プラッテ
高山植物園(スイス)にて
撮影者：M さん



→ 写真-2 ゲンティアナ・ルテア
撮影日：2015年07月14日
撮影場所：シーニゲ・プラッテ
高山植物園(スイス)にて
撮影者：M さん

シーニゲ・プラッテ高山植物園内を散策中に見かけた花です。リンドウの黄花種です。名札も付いていたので、帰国後、調べて解りました。リンドウは、紫～青系統の花だと思っていましたが、黄花種もあることを知りました。日本では、なかなか観られない色だと思いますが・・・。

センブリと同じように根が苦く、薬草として使われるそうです。ゲンティア

ナ・ルテアから、苦味健胃薬「ゲンティアナ」が作られるそうです。これは古代ローマ時代から知られていたそうです。

<ちょっと一言>

シーニゲ・プラッテ高山植物園(アルペンガーデン)は、標高約 1950m から 2000m の山岳地帯に約 600 種類もの高山植物が、その植物が本来、生息している環境(岩山、ガレ場、草原など)をできる限り再現した植栽にしているそうです。散策路も整備され、ちょっとしたトレイルも兼ねたような高山植物園。数々の花が名札付きで見られて便利。全部を観察するには、二時間ほど・・・。植物園の総面積は 8,323 m²。2008 年に兵庫県神戸市の六甲高山植物園と姉妹提携。約 1 時間弱の散策でしたが、エーデルワイスをはじめ、普段、なかなか目にすることのできない植物を堪能しましたが・・・。種類と量に、少々、食傷気味に・・・。ハイキング中に見かけた時のような感動は・・・。